

# 沖縄県平和祈念資料館だより

## 資料館の隠れポイント — 情報ライブラリー活用のすすめ —

平和祈念資料館には年間44万人の利用者が来館します。そのうち県外修学旅行団は1800校24万人を数えます。内訳をみると、高校が60%余りを占め、その次に中学校が35%を占めています。一方、県内の場合は約300校、2万1千人が利用します。その特徴は小学校が87%を占めることです。現在小学校の総数は284校で、うち213校が来館しました。県内小学校の実に75%が平和学習の場として資料館を利用したことになります。

かつて沖縄の教師たちは、戦中の学徒動員で、多くの教え子たちを戦場に送ったという反省から、「慰霊の日」特設授業に心血を注いできました。戦後63年を経た今日、当然ながら学校現場には戦場体験したその教師たちはいません。沖縄戦の「語り部」施設として、また平和教育の場としての資料館の存在意義や必要性は今後益々高まりつつあります。平和を守るための住民の戦争体験の記憶継承は、資料館にも教師たちにも、そして戦後生まれの私たちにも共通の大きな課題になっています。

さて資料館の最大の見所ポイントは、2階の「沖縄戦及び戦後復興」をテーマにした常設展示室ですが、実は無料ゾーンの隠れポイントの存在は余り知られていません。1階東側奥には、472㎡の情報ライブラリーがあり、沖縄戦や戦争、平和学等について本格的に学習・研究する機能が整備されています。閲覧のために机やイスが40席準備され、蔵書数は、沖縄戦・戦争全般の児童関係図書3千冊、沖縄戦関連図書8百冊、沖縄戦後関連図書9百冊、第2次大戦関係国内図書2.5千冊、世界の人権・平和関係2千冊、洋書百冊、その他1.4千冊の合計1万冊余があります。人類が戦争の歴史を反省し、平和を希求、構築するために創造した知識や知恵を授ける書物が皆様の利用を待っています。



▲ 1階東側の情報ライブラリー

沖縄県平和祈念資料館  
館長 宮城 智子

## 平成20年度 「児童・生徒の平和メッセージ」 図画部門 最優秀作品



小学校の部  
那覇市立高良小学校4年 上原 晴美  
「平和の地球（ホシ）」



中学校の部  
那覇市立松島中学校2年 宮里 侑希  
「平和の詩」



高等学校の部  
沖縄県立糸満高等学校1年 仲間 清香  
「ヒカレミライ」

# 平成20年度事業

## 1. 子ども・プロセス企画展

### 【趣旨】

わたしたちは、21世紀を迎え、20世紀に起きた大きな戦争を反省し、地球に住む人々がお互いに手を取り、仲よく生きていく時代が来ることを願っています。

本年度も、子ども・プロセス展示室の内容を補足・発展させる取り組みとして、沖縄戦や人権、国際理解などをテーマに、「ひろば・ゆいまーる」を利用した子ども・プロセス企画展を年4回、開催する予定です。

### ○6月：沖縄戦に関する展示「子どもたちと沖縄戦」

開催期間：平成20年6月1日(日)～6月30日(月)

本年第1回の子ども・プロセス展示は、「子どもたちと沖縄戦」をテーマに6月1日(日)から30日(月)までの30日間開催しました。

沖縄戦においては、多くの子どもたちがその幼い命を失いました。今回の展示では、戦前・戦中・戦後の子どもたちに焦点をあて、当館が所蔵する沖縄戦関連の写真資料や実物資料に加え、絵本『オジイの海』（尚子著）をパネル化して展示しました。子どもの目線にあった展示で、戦争と平和を考える機会を提供することができました。



### ○8月：「国際理解を深めようー貧困下で暮らす子どもたちー」

#### 1 開催期間及び場所

開催期間：平成20年10月27日(月)～11月16日(日)

#### 2 趣旨

平和で豊かな生活の中で暮らす私たちとは違い、世界中には紛争や貧困、食料不足など苦しい環境の中で暮らすたくさん子どもたちがいます。

第2回子ども・プロセス企画展「ー貧困下で暮らす子どもたちー」では、写真パネルなどを使って開発途上国の子どもの様子などを紹介し、平和に暮らす尊さや、先進工業国と呼ばれる日本に住む私たちが彼らに対して何をしてあげられるかを考えさせることをねらいとします。

### ○11月：「人権について考えよう」

開催期間：平成20年11月25日(火)～12月25日(木)

12月10日の「世界人権デー」をはさんで、写真パネルや人権についてわかりやすく説明されている書籍、その他資料を展示します。時と場所を越え、人間として生まれながらに当然持っている権利、「人権」について考える催しとします。

### ○1月：「平和について考えよう」

開催期間：平成21年1月13日(火)～2月16日(月)

戦後63年を経過した今日でも、世界には平和を脅かす様々な問題が存在しています。

世界を取り巻く問題に視野を広げ、みんなで平和について考えてみましょう。

## 2. 平成20年度 人権ラブソングコンテストの案内

### 1 目的

人権啓発活動の一環として、青少年を対象とした第5回「人権ラブソングコンテスト」を開催します。

このコンテストは、人権尊重思想の普及高揚を図り、青少年の皆様の人権問題に対する正しい知識を広めることにより、基本的人権の援護に資することを目的として、平成20年12月14日(日)沖縄県平和祈念資料館平和祈念ホールにおいて開催します。

コンテストでは人権啓発について、最もメッセージ性があり、強い感動・共感を呼ぶ作品が選ばれ、県内アマチュアミュージシャンのメッセージが発信されます。

より多くのグループ・ユニット・ソロの出演者を募り、入賞作品CDを制作し、県内の学校などに配布し普及を図ります。

また、今年度からは、グランプリ曲を「合唱用」「オーケストラ演奏用」に譜面化して配布し、より多くの方面で活用されるようにします。

### 2 応募資格・方法

- (1) 沖縄県内在住か沖縄県出身者の方
- (2) 音楽事務所等に未所属
- (3) デモテープ(CD、MD、カセット)、プロフィール(所定の応募用紙に記入)、歌詞のコピー、写真を提出
- (4) 応募曲は1曲。人権啓発に関する未発表のオリジナル曲に限る。

※応募曲の例：基本的人権、人類愛、平和、差別など



## ● 平成20年度 ●

### 第9回 特別企画展「カンポークエークサー 沖縄 戦後の混乱から復興へ」

住民を巻き込み多くの犠牲者をだした悲惨な沖縄戦から63年が経過しました。県内各地域における沖縄戦中・戦後の収容所生活及び終戦直後の体験等について、調査・研究及び聞き取り調査を実施し、展示することを通して、戦後沖縄の実相について理解を深め、廃墟の中から復興に立ち上がった沖縄県民の息吹とエネルギーを感じ、戦争と平和について考える機会とします。

#### 1. 期間・場所

平成20年10月10日(金)～12月21日(日)  
沖縄県平和祈念資料館 企画展示室  
平成21年1月16日(金)～2月24日(火)  
八重山平和祈念館 第2展示室

#### 2. 目的

当館の収蔵資料を中心に、県内の戦後復興関連の資料を広く公開することにより、沖縄戦と戦後復興の歩みについて理解を深めます。

#### 3. 展示内容

##### (1) 展示資料

展示する資料は、戦後復興に関わる実物資料・パネル及び証言とする。展示対象期間は1945年4月から1952年4月28日対日講和条約によって沖縄が米国の支配下に置かれたまでとする。

##### (2) 展示構成

###### ◎導入の部

- ①沖縄戦の原因と戦闘経緯
- ②収容所の分布と概要(特徴)  
配置・生活・医療
- ③疎開地・外地からの引き揚げ…インヌミヤードゥイ、海外からの援助

###### ◎展開の部

- ①収容所からの帰還…各収容所からのそれぞれの市町村への帰還45年10月～  
帰還後の生活の様子(食・住衣、日用品の確保)
- ②行政の復興…1945年～1952年までの政治的推移、沖縄諮詢会発足(1945.8)、市議員選挙(日本初の女性に参政権)、沖縄民政府創設、戦後の司法
- ③経済面からの復興の様子…経済・通貨統制、戦果、物々交換、軍作業、ヤミ市、密貿易、マスコミ
- ④教育面からの復興の様子…石川の収容所内の学校開設、青空教室、沖縄文教学校開設、琉大開学
- ⑤文化面からの復興の様子…民俗文化の再興、ウチナー芝居の再開、ニシムイ芸術村、博物館の立ち上げなど
- ⑥奄美諸島の復興…奄美での復興の様子

###### ◎結びの部

米軍支配の始まり……基地建設、琉球政府の設置、パスポート、土地闘争

###### ◎特別コーナーの部…復興体験者参加コーナー(アンケート展示)映像ビデオ等の活用

## 沖縄戦講座の開催

1945年3月末、激烈な戦火がこの沖縄を襲い3ヵ月に及ぶ「鉄の暴風」は、島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊して、20数万人の尊い命を奪い去りました。戦後63年の経過と共に、戦争の教訓から学び、未来志向の平和を考える機会として、この講座は開講されました。第1回の講座には吉浜忍氏(沖縄国際大学教授)による「戦争遺跡に見る沖縄戦—保存・活用の課題—」、第2回は林博史氏(関東学院大学教授)をお招きして「沖縄戦と民衆—『集団自決(強制集団死)』をどうみるか—」でした。



(昨年(平成20年)の第1回吉浜忍氏の講話)

平成20年度は2回の開催予定です。多くの皆様のご参加のほどお待ちしております。

- ①日 時：平成20年10月～12月(2回予定)
- ②会 場：沖縄県平和祈念資料館(1F)  
平和祈念ホール

- ③入 場 料：無料
- ④募集人員：230名
- ⑤応募方法：電話・FAXで申込み(先着順)

※詳細日時、講師、演題等については、9月頃決定次第、当館ホームページでご案内いたします。

## 企画展「平成20年度新収蔵品展」を終えて

沖縄県平和祈念資料館は1975年に開館し、沖縄戦の住民体験を継承してきましたが、2000年には施設や展示規模、管理体制を強化拡充し、新館を開館しました。お陰様で、県内外の多くの方々から沖縄戦及び関連資料のご寄贈を毎年いただいています。

さて本年の企画展「平成20年度新収蔵品展」は、平成19年度1年間にご寄贈、収集された新たな資料を収蔵資料として県民に御披露するための展示会です。寄贈者は県内をはじめ、県外では山形県、遠くは米国在住の方々まで総数で24名、その点数は180件281点を数えました。とりわけ、那覇市の故金城茂様のご遺族からは同氏が永年収集に努めた軍関係資料86件130点がご寄贈されました。



▲慰霊の日に多くの県民が熱心に観覧する企画展

この展示会では当館1階の企画展示室で約200点の資料を公開しました。開催期間は多くの県民が摩文仁を訪れる「慰霊の日」前の6月20日（金）から7月31日（木）まで42日間開催しました。多くの県民がこの企画展を観覧いただきました。寄贈者の皆様のご厚意に改めて感謝申し上げます。

## 児童・生徒の平和メッセージ展

### (1) 趣旨・展示内容

「児童・生徒の平和メッセージ展」は当館の主要事業のひとつで、今回で18回目を迎えます。県内の小・中学校、及び高等学校・特別支援諸学校の児童・生徒に、日常生活の中で「平和の心や意識」を育み、県内をはじめ、国内外に平和のメッセージを発信するため、沖縄県教育委員会との共催事業として実施しています。今年も県内162校から、3,798点の多くの作品の応募がありました。これらの中から、見事に入選した優秀作品は、当館の展示会を皮切りに、県内の4会場で巡回展示されます。図画・作文・詩のいずれの作品も、児童・生徒のみなさんの純粋な平和への願いが込められており、やさしさ、たくましさ、みずみずしい感性にあふれた作品の数々は、多くの感動と感銘を与えるものと確信しております。



▲今年度のメッセージ展本館テープカット

### (2) 開催期間

○沖縄県平和祈念資料館	6月23日(月)～7月10日(木)
○八重山平和祈念館	7月16日(水)～7月23日(水)
○宮古島市平良庁舎ロビー	7月28日(月)～8月1日(金)
○県庁1階(県民ホール)	8月11日(月)～8月15日(金)

平成20年度  
第18回

# 「児童・生徒の平和メッセージ」入選者一覧

今年は県内162校より図画1,985点、作文227点、詩1,586点、合計3,798点の応募がありました。ご応募ありがとうございました。県内外へ平和のメッセージを届けたいと思います。審査の結果を発表いたします。

図画の部入選者	作文の部入選者	詩の部入選者
<p><b>小学校の部(10名)</b></p> <p>最優秀賞 上原 晴美 (高良小4年)</p> <p>優秀賞 三田ほのか (さつき小2年) 上原千紗都 (大山小6年) 比嘉 貫太 (とよみ小6年)</p> <p>優良賞 下地 利実 (さつき小1年) 安里 一香 (潮平小3年) 屋部 孝太 (とよみ小5年) 田口 結菜 (室川小6年) 瀬底 綾香 (とよみ小6年) 黒島星利菜 (宇米原小6年)</p>	<p><b>小学校の部(11名)</b></p> <p>最優秀賞 照屋響之右 (さつき小5年)</p> <p>優秀賞 新澤ももこ (宮城小5年) 野原由梨奈 (松島小6年)</p> <p>優良賞 上原 千忠 (宇米原小3年) 宮城 太晴 (座間味小4年) 田中 杏樹 (座間味小5年) 砂川 優美 (高嶺小6年) 大城 亮 (座安小6年) 新里 麗 (新城小6年) 栄徳あすか (喜屋武小6年) 金城まり奈 (さつき小6年)</p>	<p><b>小学校の部(11名)</b></p> <p>最優秀賞 嘉納 英佑 (読谷小4年)</p> <p>優秀賞 照屋希之薫 (真壁小4年) 上原 晴美 (高良小4年) 奥間友芽子 (さつき小4年)</p> <p>優良賞 喜納 鈴乃 (真壁小4年) 宮里 瑞姫 (座間味小4年) 島袋 康平 (とよみ小6年) 金城 侑樹 (とよみ小6年) 島袋 祐幸 (真地小6年) 美里 春花 (真地小6年) 国場 千聡 (糸満南小6年)</p>
<p><b>中学校の部(13名)</b></p> <p>最優秀賞 宮里 侑希 (松島中2年)</p> <p>優秀賞 喜舎場愛月 (石垣中2年) 平良 光希 (池間中3年) 新垣 ナオ (宜野湾中3年)</p> <p>優良賞 大城麻優見 (神原中1年) 小森 雄太 (鏡が丘養護1年) 仲宗根 凜 (古堅中2年) 渡嘉敷沙織 (豊見城中3年) 大濱えみり (高嶺中3年) 仲里 朝香 (西崎中3年) 根本かえで (西崎中3年) 島袋 七星 (越来中3年) 山城 直香 (大浜中3年)</p>	<p><b>中学校の部(11名)</b></p> <p>最優秀賞 張本 美嶺 (大浜中1年)</p> <p>優秀賞 松山 忠明 (西表中3年) 友利 有希 (小禄中3年)</p> <p>優良賞 上原絵里奈 (波名喜中1年) 伊禮 凧沙 (西原中1年) 平安名優里 (名蔵中2年) 久富 萌江 (仲西中2年) 知花あかね (読谷中2年) 阿利 唯 (西表中3年) 運道 慎 (名蔵中3年) 宮国 真子 (大浜中3年)</p>	<p><b>中学校の部(9名)</b></p> <p>最優秀賞 金城 美奈 (仲西中3年)</p> <p>優秀賞 山城あかね (佐敷中2年) 上間 一輝 (南星中3年)</p> <p>優良賞 上地 奈央 (佐良浜中1年) 嘉納 佳子 (読谷中1年) 前川 仁美 (仲西中2年) 西銘 信一 (仲西中2年) 池村 彩華 (仲西中3年) 嵩原 有宇 (沖縄尚学高等学校附属中3年)</p>
<p><b>高等学校の部(11名)</b></p> <p>最優秀賞 仲間 清香 (糸満高1年)</p> <p>優秀賞 宜野座愛海 (糸満高1年) 比嘉美奈穂 (普天間高2年) 渡部 夏連 (首里高3年)</p> <p>優良賞 増村志帆里 (普天間高1年) 神村朱弥奈 (浦添高1年) 福元 涼子 (糸満高2年) 赤嶺美奈里 (宜野湾高2年) 東 拓哉 (石川高3年) 大野 芽衣 (宜野座高3年) 片岡 美波 (首里高3年)</p>	<p><b>高等学校の部(6名)</b></p> <p>最優秀賞 崎山 史子 (那覇国際高2年)</p> <p>優秀賞 具志堅靖知 (コザ高3年)</p> <p>優良賞 宮里佑紀乃 (那覇国際高2年) 新城 理恵 (那覇高校3年) 萩原 沙妃 (那覇高校3年) 與那城 良 (石川高校3年)</p>	<p><b>高等学校の部(11名)</b></p> <p>最優秀賞 仲地 愛 (球陽高2年)</p> <p>優秀賞 知花かおり (球陽高1年)</p> <p>優良賞 塚本 真衣 (沖縄尚学高2年) 知念 千里 (首里高1年) 向井 梓 (八重山高3年) 泉 美希 (首里高3年) 宮城 華 (知念高3年) 具志堅靖知 (コザ高3年) 福地 涼香 (普天間高3年) 田仲 杏奈 (球陽高3年) 大城 友弥 (沖縄盲学校3年)</p>

## 6・23沖縄慰霊の日の平和祈念資料館

6月23日(月)の慰霊の日、沖縄県主催の沖縄全戦没者追悼式が平和祈念公園で開かれ、多くの方々が犠牲者に祈りをささげ、恒久平和を誓いました。当資料館では、毎年慰霊の日は常設展示の観覧を無料にし、開館時間を午後6時まで延長しています。今年は常設展示の観覧者が4千人を超えました。展示室では、祖父母、親御さんが子どもに展示の説明や体験談を聞かせている光景が見られました。

この日館内では、当資料館主催の「児童・生徒の平和メッセージ展」「子ども・プロセス企画展:子どもたちと沖縄戦」「慰霊の日・ビデオ上映会」「平成20年度新収藏品展」「友の会によるポイントガイド」などが開催されました。また、糸満市教育委員会による「読み聞かせ会」、美研主催の「沖縄平和芸術祭～祈りのことば～」、裏千家による呈茶会も行われ、来館した方々は様々な展示や企画に参加し、平和への願いを新たにしていました。

## 友の会の活動状況

(1) 平成19年度 平和講話・ガイド実績

小・中・高校・その他・52団体 11,967人

(2) 平成19年度(10ヶ月) 常設展示室解説員 配置実績 延べ253人

(3) 研修会

①学習会「沖縄戦をどう語り継ぐか」 ②「高等学校歴史教科書検定意見に対する陳情」について ③講演フィリピンと日本—戦争の記憶と現在 ④学習会沖縄県立工業高校の塔および周辺のガマ ⑤フィールドワーク:南北の塔・山雨の塔・タージリガマ ⑥資料館常設展示室の解説活動を通しての会員と資料館職員との交流 ⑦特別企画展企画 展へ向けての協力(アンケート)



## 『沖縄の戦争遺跡』発刊 (沖縄県平和祈念資料館編)

「沖縄の戦争遺跡」は第8回特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡—戦世(イクサユ—)の真実を伝えるために—」の図録として作成されました。戦争遺跡は戦争体験者の証言と一体となって沖縄戦の実相を伝えていく歴史的資料として極めて重要です。

この本は本島・宮古・八重山・その他離島も含め数多くの戦争遺跡をわかりやすく解説しています。

また、地域社会や学校などで、平和学習の一環として戦争遺跡を現地見学する際のガイドブックとして活用できる構成となっています。多くの方々に平和の尊さや平和について考える道しるべとして活用していただければ幸いです。なお、この本は資料館のミュージアムショップ(1F)、県内の書店でも1,200円で販売しております。



# 戦争遺跡

# 八重山平和祈念館 ●平成20年度 事業実施状況●

## 1 企画展「戦争と子どもたち」

●期間：平成20年6月1日(日)～7月4日(金)

戦前・戦中・戦後の教科書や戦時中の雑誌、八重山高等女学校1年の生徒が綴った日記等を展示し、戦時中の子どもたちの生活、教育など、子どもの目から見た戦争を通して当時の事実を知ると共に、これからの時代を担う子どもたちが平和学習で取り組んだ作品等を紹介し、平和の尊さを考えることを目的として開催しました。

開催期間中、八重山地域の学校の平和学習等、1,500名を超える多くの方のご来場をいただきました。



## 2 慰霊の日「アニメ上映会」

●期間：平成20年6月23日(月) 午後2時より

6月23日の慰霊の日に、太平洋戦末期、八重山で起きた「戦争マラリア」を知り、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考えてもらおうと、戦争マラリアを題材にしたアニメ『石の声ー沖縄戦マラリア地獄の記憶ー』等を上映するアニメ上映会を開催しました。

当日は、児童生徒や親子づれ等、167名が来場し映像に真剣に見入る姿が見られました。



## ◎ 教師向け見学説明会

●期間：平成20年5月15日(木)・20日(火)

学校で平和学習が活発に行われる6月を前に、5月15日と20日の2日間、学校の教員を対象にした見学説明会を実施しました。

館内の展示解説や利用方法、各学校の取組状況等を例にあげた活用方法を説明するなど、平和学習に役立ててもらおうと開催したものです。

「戦争マラリア」や八重山地域の戦争を学ぶことができる施設として、平和学習に関する情報を発信していけるよう取り組んでいきたいと思ひます。



### 連絡先

住 所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町79番地の3

TEL/FAX：0980-88-6161

URL：<http://www.pref.okinawa.jp/yaeyama-peace-museum/>

E-mail：[yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp](mailto:yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp)

## 情報ライブラリーへのご招待

1階の情報ライブラリーでは、資料館の展示内容に関連する様々な資料・情報を収集しており、無料でご利用いただけます。戦争や平和に関する図書が約1万冊。ほとんどは自由に閲覧することができます。特に児童書の充実を図っているところで、学校団体でのご利用にも対応できるようにしています。

5台のAVブースでは、沖縄戦の証言や人権問題等に関する映像資料が視聴できます。資料館が収録した戦争体験者の映像450人分が公開されており、またビデオやDVDは約100本あります。

検索コーナーには4台のパソコンがあり、モニターにふれるだけで、資料館に収録されている多くの収藏品や図書資料の情報、展示室の解説情報、平和の礎に関する統計情報など多様な情報をご覧ください。



〔小学校 詩 最優秀賞〕

## 世界を見つめる目

読谷村立読谷小学校 四年 嘉納 英佑

やせっぽっちの男の子が  
ほほえみながら、ぼくを見つめた  
テレビの画面の中で：  
ぼくも男の子を見つめた  
どんな事があったの？  
何があったの？  
何も食べる物が無いんだ  
でも、ぼくは生きたい  
くるしいけど、あきらめない  
ぼく、がんばるよ  
えがおが、あふれるよ  
生きる人間の力強さを感じた  
ぼくは、真実を見つめる目を  
持ちたいと思った

悲しそうなお目をした女の子が  
なみだをうかべながら、ぼくを見つめた  
テレビの画面の中で  
ぼくもその女の子を見つめた  
なぜ、悲しい顔をしているの？  
なぜ、ないてるの？  
せんそうで、家族もいなくなっちゃった  
家も、友達も  
全部、全部なくなっちゃった  
悲しいよ、さびしいよ  
どうすればいいの、助けて  
大切なものをなくした人間の弱さを感じた  
ぼくは、涙をふいてあげる  
やさしい手を持ちたいと思った

きずだらけの男の人が  
苦しそうな顔をして、ぼくを見つめた  
本の写真の中で：  
ぼくも男の人を見つめた

どうしたの？  
いたいでしょ、大じょうぶ？  
あそこからは、なにも生まれはしない  
おたがいにくすつくだけ  
にくしみかたつるだけ  
人間のおかしなあやまちの大きさを感じた  
ぼくは、やさしくあててあげる  
おたがいを抱きたいと思った

ぼくのとなりで  
おしいちゃんが  
自分の目で見えたできごとを  
ぼくに伝えた  
苦しかったせんそうのできごと  
おぼあちゃんが  
自分が体験してきたできごとを  
ぼくに伝えた  
こわかった、そかい先でのできごと  
お父さんが  
自分が聞いたできごとを  
ぼくに伝えた  
食べる物がなく、苦しんでいる人がいる事  
家がなく、つらい思いをしている人がいる事  
家族とはなればなれになってしまっている人  
ざんごくでひんなんできごと  
悲しくなった、つらくなった  
お母さんが何も言わず  
ぼくをたきしめた  
おながいづかいになった  
あたたかいぬくもりが  
すつとすと、ぼくの中にこぼれた  
みんながしあわせになれるように  
ぼくは、  
世の中をしっかりと見つけ  
世の中の音に耳をかたむけたい  
そしていつまでも  
やさしい手と  
あたたかい心を持っていたい

### 資料のご提供について

戦後63年が経ち、戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくためには、戦前、戦時中、終戦後の資料等がますます重要な役割を果たしていくこととなります。このような資料をお持ちの方、貴重な思い出の品々かとは存じますが、ご提供をたまわり、今後に活用させていただきますようお願いいたします。

### ビデオの貸出について

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」全26巻の貸出しと資料館制作の沖縄戦ビデオ「そしてぼくらは生き残った」「やーさん、ひーさん、しからーさんー集団疎開児童の証言ー」のビデオの貸出しを行なっています。  
どうぞ、事前学習等でご活用ください。

### 見学するにあたって学校等への協力願い

当館では来館者が安全で快適な見学が行えるよう、以下のことについて、ご協力をお願い致します。  
○ほかの来館者の迷惑にならないようマナーを守り静かに見学しましょう。  
○平和学習を効果的に行うために、引率の先生方も児童・生徒とご一緒に見学することをおすすめします。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1 TEL:098-997-3844 FAX:098-997-3947

URL:www.peace-museum.pref.okinawa.jp

E-MAIL:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp